

(様式3)

令和6年度 中間評価

学校名 湯梨浜町立東郷小学校

校長名 福田 早由里 印

1. 学校の教育目標

豊かな心で自ら考え行動する、たくましい児童の育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- (1) 学ぶ意欲の向上と確かな学力の向上（学びの力づくり）
- (2) 支え合い高め合う人間関係づくり（豊かな心づくり）
- (3) 健やかでたくましい心と体づくり（たくましい心と体づくり）
- (4) 地域に根ざし開かれた学校づくり

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	中間評価	課題及び改善点
(1) 学びの力づくり ①「わかる授業」の保障 ② 主体的に学び、表現力を育てる授業づくり	C	◇「子どもの発言やノートの記述などをつなげ、全員参加の学習を行いましたか。」→76.5% ◇「教員同士、気軽に授業を見合いましたか。」→47.1% 教員アンケートで2項目肯定的評価が低かった。 →○全員参加の学習をさらに進めていく。教師と児童の発表のやりとりではなく、児童同士の発言をつなぐことを意識して授業を行う。 つなぐことは、友だちの考えを聞き、自分の考えを深めることにつながる。「東郷小学校 話す・聞くポイント」を活用していく。 例 ・同じです。→どこが同じだった？ ・もう一度、説明できる人？ ・～さんと似ていて、～違う意見です。～まとめると ・～さんの発言を聞いてどう思った？ ・私の意見を聞いて～さんどう思いましたか？ ○同時に、様々な考えを引き出し、子どもが主体的に学び、発言がつながる発問の工夫を行う。 ○授業参観ウィークを活用する。

(様式3)

(2) 豊かな心づくり ① 児童が安心して生活・学習できる学級づくり・集団づくり ② 特別支援教育・生徒指導・教育相談による連携の徹底	B	◇「信頼関係を作るために、子ども一人一人と対話ができましたか。」→100% ◇「児童や保護者に関する事案について、早期に報告・連絡・相談ができましたか。」→100% 肯定的評価は高かった。 →○今後も「学級づくりのための作戦会」での実践共有を行い、よい取組を広めていく。 ○個人面談や「心の声を届けよう」の取組を継続し、児童の思いをしっかり受け止める。 ○落ち着きのない児童が見られるが、その都度、生徒指導・教育相談・特別支援担当者が連携し、ケース会議を開いていく。
(3) たくましい心と体づくり ① 基本的な生活習慣の定着に向けた取組 ② 運動に親しみ、健康と体力の向上を図る	C	◇「寝る時間のめやすが守れましたか。」低：9時まで14%、中：9時半まで61%、高：10時まで74% ◇「業間運動に取り組めましたか。」→82.4% ◇「姿勢ピン運動に取り組めましたか。」→58.5% 就寝時刻が遅い児童が多い。スクリーンタイムの長い児童がいる。 →○寝る時間・メディアの時間については、今後も保護者に啓発を行う。PTA保体部が主体となり情報発信していく計画を進める。 ○視力が落ちている児童数が増えたことや姿勢ピン運動の取組状況が良くなかったことを踏まえ、教員の意識付けと保健委員会で児童からの発信を行っていく。
(4) 地域に根ざし開かれた学校づくり ① 「ふるさと東郷」における体験活動・表現活動の充実 ② 地域人材活用により地域に学ぶ教育活動の充実	A	◇「ふるさと教育・体験活動等、充実した学習になりましたか。」→88.3% 様々な学校地域ボランティア活動に協力いただいた。また、家庭科教育研究大会をとおして、体験活動の幅が広がった。 →○今後も地域学校協働活動推進員と連携し、学校と地域を結ぶ活動を推進していく。

◎3の「中間評価」の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である